

【発行】社会福祉法人 四国中央市社会福祉協議会

〒799-0404 四国中央市三島宮川4丁目6番55号 所: TEL 0896-28-6127 FAX 0896-24-8009 川之江支所:TEL 0896-28-6237 FAX 0896-56-5447 土居支所:TEL 0896-28-6351 FAX 0896-74-1435

新宮支所:TEL 0896-72-2774 FAX 0896-72-2774

社協だよりは、皆さまからお寄せいただいた社協会費と共同募金の配分を受け作成されています。





8月号のトピックス

理事・監事の選任、

会長・副会長の選定のご報告

- 新しい「ふれあい・いきいきサロン」のご紹介
- ●令和4年度事業報告・決算報告
- 福祉用具リサイクル情報
- ファミリーサポートセンター講習会のお知らせ
- ボランティア市民活動センターからのお知らせ
- 民生児童委員協議会の総会開催のご報告
- ●まごころ銀行のご報告

https://www.sikochu-syakyo.jp

任期満了に伴う理事・監事の選任、会長・副会長の選定

任期満了に伴い新たに理事・監事が選任されました。【選任日:令和5年6月28日(定時評議員会)】 また、同日に開催されました第2回理事会において、会長及び副会長が選定されました。



会長就任の挨拶

社会福祉法人 四国中央市社会福祉協議会

この度、令和5年6月28日に開催されました理事 会において理事の皆様方の御推挙と御賛同を賜り、 会長に就任(再任)いたしました。

微力ではございますが、四国中央市の地域福祉の 推進のため、積極的に取り組みを進めて参りますので、 皆様の御理解と御協力、御指導を賜りますようお願 い申し上げ、就任にあたっての挨拶といたします。

【理事】

※カッコ内は選出区分

会 長 厚德(共同募金会市支会代表者) 副会長 —柳 栄一(三島地域福祉圏域代表者)

井上 副会長 彰(学識経験者)

> 星川 充 (川之江地域福祉圏域代表者)

星川 隆 (川之江地域福祉圏域代表者)

定(三島地域福祉圏域代表者)

加地 正義(土居地域福祉圏域代表者)

三鍋公一郎(新宮地域福祉圏域代表者)

藤原 弘之(民生児童委員協議会代表者)

晴志(公民館長会代表者) 寺尾

細川 哲郎(行政関係者)

鈴木 【監事】

宮﨑

義彦(公認会計士又は税理士)

三好 政広(学識経験者)

任期:令和5年6月28日から令和7年定時評議員会終結時まで

社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、誰もが安心して暮らすこと ができる福祉のまちづくりの推進を図ることを目的としており(社会福祉法第109条に規定)、 地域の皆様や関係機関・団体等が参加する公益性の高い非営利・民間の福祉団体です。

社会福祉協議会の理事会(執行機関)、評議員会(議決機関)、監事会(監査機関)は、地域住 民や各分野から選出された方々で構成されています。



私たちのまちに新しい「ふれあい・し」きいきサロン」ができました。

ふれあい・いきいきサロンは、地域住民が気軽に集える場をつくり、 地域の「仲間づくり」「健康づくり」を行うことにより、住み慣れた地域 でいつまでも暮らせることを目指しています。

□えのくぼサロン□

~令和5年6月22日(木)発足~

開催日:毎月1回(木曜日)

場所:恵之久保自治会集会所

人 数:参加者11名 お世話人7名 内容:おしゃべり、レクリエーションなど

参加費:500円

社会福祉協議会では、ふれあい・いきいきサロンづくりを推進 しています。お気軽にご相談ください。



【申込・問合せ】 地域福祉課 電話 28-6127

情報 令和4年度 四国中央市社会福祉協議会 事業・決算報告 (概要)

四国中央市社会福祉協議会では、第4次地域福祉活動計画(2022~2026年)に基づく1年目(初 年度)の取り組みとして「ともに支えあい ともに生きる 地域づくり」を基本理念に、重 点方針に沿った事業・活動を展開し、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりの推 進に努めました。

また、最初に確認されてから3年以上が経過した新型コロナウイルス感染症による影響を受け ながらも、各事業の推進に向けて歩みを進めました。



住民主体の地域福祉活動、 たすけあいの風土づくり

1-1 地区社協活動の充実

住民ニーズに立脚した住民主体の地域福祉活動を実施 する地区社協の支援を行い、誰もが安心して暮らすこと ができる住みよい地域づくりを進めました。

- ①20地区社協活動の支援と協働
- ②メニュー事業の推進

1-2 小地域ネットワーク活動の推進

小地域における高齢者や障がい者、子育て家庭などの 困りごと等に対する住民相互のたすけあいや見守り活動 を推進しました。

- ①独居高齢者福祉ネットワーク事業の推進(市委託事業)
- ②ファミリーサポートセンターの運営(市委託事業)
- ③住民互助型生活支援サービスの推進(愛ネッとワーク)

1-3 福祉関係団体等への支援

民生児童委員活動の支援や共同募金運動の推進、各種 貸出事業等の実施により、地域福祉の活性化を図りまし

- ①民生児童委員活動の支援と協働
- ②共同募金運動の推進
- ③福祉機器等貸出事業の実施
- ④福祉用具リサイクル事業の実施
- ⑤高齢者や障がい者及び福祉関係団体等に対する移動支 援の検討

1-4 健康と生きがいづくりの推進

住民誰もが健康で、いきいきと安心して生活を送って いけるように、身近な地域での居場所・学びの場・生き がいづくりを推進しました。

- ①ふれあい・いきいきサロン活動の充実
- ②常設型サロン創設の推進
- ③介護予防教室事業の実施(市委託事業/公募提案型) ※市内4圏域に公募提案しましたが、審査不可となり、受託 事業としての実施はありませんでした。

住民の福祉意識の啓発、 ボランティア市民活動の推進

2-1 ボランティアの育成・活動支援

地域におけるボランティア活動の支援と福祉教育の充 実を図り、人材育成に努めるとともに、共に生きる地域 社会づくりを推進しました。

- ①ボランティア活動の推進
- ②福祉教育の推進

2-2 災害ボランティア活動支援体制の充実

災害時において被災者の一日も早い生活再建を進める ために、平常時から地域におけるネットワークを構築し、 関係機関等との関係を深めることにより、災害ボラン ティアセンターの運営体制の充実を図りました。

- ①平常時のネットワークの構築
- ②災害ボランティアセンターの設置・運営

住民の権利擁護、 総合的な相談支援を通じた地域づくり

3-1 地域福祉権利擁護事業の推進

高齢になっても、障がいがあっても地域から排除され ず、必要なサービスや支援、ネットワークを活用して、 地域での自立生活が営めるよう権利擁護に取り組みまし た。

- ①福祉サービス利用援助事業の推進(県社協委託事業) ②成年後見サポートセンターの充実
- 3-2 地域総合相談・援助活動の実施

住民から寄せられる多様な生活課題を受け止め、地域 を基盤にして解決につなげる生活支援やその仕組みづく りを行い、福祉のまちづくりを進めました。

- ①生活福祉資金貸付事業の実施(県社協委託事業)
- ②生活困窮者自立相談支援事業の実施(市委託事業)
- ③家計改善支援事業の実施(市委託事業)
- ④就労準備支援事業の実施(市委託事業)
- ⑤地域包括ケアシステムの構築(生活支援体制整備事業 の実施/市委託事業)

3-3 調査・企画・広報活動の推進

地域の要援護者の把握に努め、関係機関等と連携した 支援活動に取り組むとともに、必要な事業やイベント等 を企画・実施し、広報活動を推進しました。

- ①福祉票整備・要援護者の支援
- ②広報啓発活動の充実
- ③社会福祉大会の開催

生活の質を高め安心を支える 在宅福祉サービスの推進

4-1 訪問介護サービスの推進

援護が必要な高齢者・障がい者宅にヘルパーが訪問し、 必要な身体介護・生活援助・助言サービスを行い、日常 の自立生活を支援しました。

- ①訪問介護事業・訪問型サービスの実施
- ②障害者居宅介護等事業の実施
- ③移動支援事業の実施(市委託事業)
- ④訪問入浴・介護予防訪問入浴介護等の実施
- ⑤訪問入浴サービス事業の実施(障がい者)
- ⑥有償サービスの実施
- ⑦育児等支援ヘルパー派遣事業の実施(市委託事業)

4-2 通所介護サービスの推進

送迎及び必要な介護・生活訓練・生きがい活動を実施し、 自立生活を支援しました。

- ①地域密着型通所介護事業・通所型サービスの実施 ②いこいの湯の運営(市委託事業)
- 4-3 相談支援サービスの推進

高齢者や障がい者等の相談に応じ、ニーズ把握や資源 の調整等、ケアマネジメントによる安心の在宅生活を支 援しました。

①居宅介護・介護予防支援事業・介護予防ケアマネジメ

- ントの実施(介護予防支援事業・介護予防ケアマネジ メントは市委託事業)
- ②要介護認定訪問調査受託事業の実施(市委託事業)
- ③指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業・指定ー 般相談支援事業等の実施(相談支援の一部は市委託事 業)

4-4 地域生活支援サービスの推進

障がい者の地域における生活を支援するため、働く場や生活の場、地域における支援体制を整備しました。

- ①地域活動支援センターの受託運営(市委託事業)
- ②就労継続支援B型事業の実施

4-5 住まいの場の確保

独立して生活することが困難な高齢者等が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、住まいの場の提供及び日常生活上の援助を行いました。

①生活支援ハウスの運営(市委託事業)

4-6 福祉介護等研修事業の実施

福祉・介護等に関する研修を企画・実施し、 従事者の援助技術の向上や人材の開発を 推進することに努めました。

- ①介護の入門的研修の実施検討
- ②在宅連絡調整会の充実



		資	産	の	部	
流動資産						237,199,372
固定資産						283,855,332
資	産	合	計			521,054,704

<収支計算書>

収入の部	
会費収入	23,698,900
寄附金収入	2,369,386
経常経費補助金収入	96,977,014
受託金収入	86,057,882
事業収入	3,859,295
負担金収入	1,293,000
介護保険事業収入	117,761,589
就労支援事業収入	2,744,628
障害福祉サービス等事業収入	57,068,320
受取利息配当金収入	32,624
その他の収入	5,291,789
退職手当積立基金預け金取崩収入	15,957,810
前期末支払資金残高	197,077,559
収 入 計	610,189,796

5 社会福祉協議会の基盤強化

5-1 組織体制の充実・強化

社協活動を推進するため、組織体制の充実・強化を図りました。

- ①福祉活動の拠点の確保
- ②理事会・評議員会の充実
- ③専門委員会の設置・運営及び在り方の検討
- ④事務局体制の整備
- ⑤役職員の資質向上を図る研修の実施
- ⑥公益的な取り組みの実施と法人連携の推進
- ⑦事業継続計画 (BCP) の策定・運用

5-2 福祉財源の確保

社協活動及び地域福祉活動の振興のために、福祉財源の確保に努めました。

- ①社会福祉協議会全戸会員制の推進
- ②まごころ銀行運動の推進
- ③積極的な事業受託と補助金・委託金の確保
- ④共同募金配分金の活用
- ⑤収益事業の研究・開発
- ※詳細につきましては、本会ホームページの「情報の公開」 (令和4年度事業報告書など)をご覧ください。

(単位:円)

	負	債の	部	
流動負債				50,972,725
固定負債				132,629,470
負	債 合	計		183,602,195
差	引 純 資	産		337,452,509

(単位:円)

315,922,070
34,129,207
16,380,667
2,703,809
3,954,320
21,712,988
878,470
11,811,690
202,696,575
610,189,796

情報

福祉用具則サイクル情報 (7月12日現在)

※最新の情報はホームページ「福祉用具リサイクル情報」をご覧ください。

この事業は、現在使用されていない 福祉用具の活用と地域住民相互のふれ あいを促進し、地域福祉の向上を図る ことを目的に実施しております。ご家 庭で不要な介護機器がありましたら社 会福祉協議会までご連絡ください。

※主な機器としては**車椅子(できれば**軽いもの)、ベッド、歩行器等です。

ゆずります

電動車椅子 1台 ポータブルトイレ 3台 シャワーキャリー(入浴用車椅子) 1台 手押しシルバーカー 1台 立位台(小児用プロンボード) 1台

ゆずってください

自走式車椅子 1台 介助式車椅子

(アーム跳ね上げタイプ) 3台 子供用車椅子 1台 歩行器(天板付) 1台 シニアカー(4輪型) 1台 杖(高さ調節機能付き) 1本 手押しシルバーカー 2台

【申込・問合せ】 総務企画課 電話28-6127

お知 らせ

ファミリーサポートセンター講習会を開催します

ワークショップ

四万十新聞ばつぐを作ろう

読み終えた新聞紙とでんぷんのりだけで作る、エコで機能的な「四万十新聞ばっぐ」を一緒に作りませんか。



【日 時】 令和5年8月7日(月)

午前の部 10:00 ~ 11:30 午後の部 13:30 ~ 15:00

【場 所】 金生公民館 1階 会議室

【講師】 山崎 有紀(やまさき ゆき)さん (しまんと新聞ばっぐインストラクター)

【対 象】 市民のみなさん

【定 員】 午前・午後の部、各5組程度

グートキーバー人材養成研修会 こころの健康を保とう

身近な人の「いつもと違う」様子に気づき、必要な 支援につないで見守る、「心のサポーター」になりま せんか。

【内 容】 ゲートキーパーの役割について

【日 時】令和5年9月2日(土)

10:00~12:00

【場 所】 四国中央市保健センター1階 集団指導検診室

【講師】 舩戸智寿子先生(ふなと ちずこ)先生 (臨床心理士)

【対 象】 市民のみなさん

【定員】30名程度

※お電話もしくはホームページの申込みフォームから事前にお申込みください。

加費無料

ファミリー・サポート・センター

【申込・問合せ】 電話 28-6150 (ファミサポ専用ダイヤル)

情報

ボランティア市民活動センターからのお知らせ

要約筆記教室受講生募集!!

パソコンを使って耳の聞こえにくい方に話の内容を伝える方法を学びませんか。

【講 師】 四国中央市要約筆記サークルうさみみ

【日 時】 9月5日~10月10日(9/12は休み) 毎週火曜日/全5回 10:00~11:30

【場 所】 川之江文化センター1階会議室

【定員】10名程度

【受講料】 無料

【持参物】 パソコン(貸出有)・筆記用具

【締 切】 8月29日(火)

【申込・問合せ】

四国中央市ボランティア市民活動センター 電話 28-6039 FAX 28-6160

報告

まごころ銀行報告

(5月1日~6月30日分) ご寄付ありがとうございました。

◎匿名 ………………… 100,000円

◎大西美惠子 様

故 大西泰三 様 香典返し……… 100,000円

福

皆さまからいただいたこれらの善意は、 福祉活動の向上に活用させていただきます。

報告

民生児童委員協議会の総会が開催されました

令和5年5月18日(木)、四国中央市福祉会館4階 多目的ホールにおいて民生児童委員協議会総会が開催されました。

新型コロナ感染症の影響で4年ぶりの開催となった総会では、令和4年度事業報告、決算・監査報告、令和5年度事業計画、予算に関する議事の審議が行われました。

議事終了後、四国中央警察署生活安全課課長・川井浩平氏による「特殊詐欺被害防止対策について」講演があり、警察署職員の方による寸劇も交え具体的な被害の事例をわかりやすく示していただきました。四国中央市においても詐欺被害が発生しており、民

生委員活動のなかでも住民に注意喚起をし、特殊詐欺にあわない地域でくりに貢献していきたいと考えております。





~総会の様子~